



平成29年度外交・安全保障調査研究事業費補助金（総合事業）
「反グローバリズム再考——国際経済秩序を揺るがす危機要因の研究」

サブプロジェクト II : 「グローバルリスク」研究会

1. 研究概要

本研究会では、地域の不安定化がグローバルなリスクを拡大し、国際社会への脅威となる事例として、「中東情勢・エネルギー」と「ポピュリズムの伸長と人口移動問題」を主に分析する。

(1) 中東情勢・エネルギー研究部会

世界最大の石油供給地であり、アジア、欧州、アフリカと接続する中東地域の不安定化は、世界経済へ多大なリスクをもたらす可能性がある。2010年の「アラブの春」以降、中東地域秩序が崩壊したため、一部の国は内戦に陥り、「イスラーム国」(Islamic State: IS)のようなイスラーム過激派テロ組織が跳梁し、住民を域外国へ難民や移民として大量に送り出す結果となった。また、オバマ米政権の「アジア回帰」政策とイランとの関係改善、イラン核合意の成立は、中東における従来の親米国の懸念を増幅させ、域内主要国間の主導権争いや他国への軍事介入を激化させている。中東安定化のためには、安定した地域秩序の形成が不可欠である。そのために、イラン、トルコ、サウジアラビア、イスラエル、エジプトを核とする地域大国間のパワーバランスの推移を分析し、新たな地域秩序を構想する。また、トランプ政権の対中東政策について情報収集・分析すると同時に、中東各国の対応を考察する。

(2) ポピュリズム・人口移動問題研究部会

2015年の夏、バルカン半島や地中海を越えてヨーロッパに向かう大量の難民や移民がヨーロッパを震撼とさせた。ヨーロッパ各国政府は、難民の受入か拒否かで見解が分かれ、さらには、難民に紛れたIS要員やホームグロウン・テロリストによるフランス、ベルギー、ドイツでのテロ事件により、排外主義的な主張をするポピュリズム政党の伸長が著しい。ポピュリズムの波は、ヨーロッパのみならず、アメリカにも波及し、トランプ政権の成立に至った。この部会では、欧米のポピュリズムの伸長と難民や移民による「人の移動」に関する問題の相関、難民・移民を送り出す原因となった地域間の経済格差や送り出し国の政治・経済・社会的問題、難民・移民と受入国の文化摩擦の問題を検討する。2016年以降、シリアやイラク、リビアにおいてISは支配領域を喪失しつつあるが、IS帰還兵や別の形での新たなイスラーム過激派の運動が起こりうる可能性もある。欧米における排外主義やポピュリズムの高まりが、イスラーム過激派の動向にどのような影響を与えているのか、欧米のムスリム移民や難民の政策と現状、中東・アフリカ地域、またサイバー空間でのイスラーム過激派のグローバルなネットワークの動向を検討する。



平成29年度外交・安全保障調査研究事業費補助金（総合事業）
「反グローバリズム再考——国際経済秩序を揺るがす危機要因の研究」

2. 研究体制

<主査>

立山 良司 防衛大学校名誉教授

<委員「中東情勢・エネルギー研究部会」>

池田 明史 東洋英和女学院大学学長（副査）
今井 宏平 日本学術振興会特別研究員
小野沢 透 京都大学教授
小林 良和 日本エネルギー経済研究所 化石エネルギー・電力ユニットガス
グループマネージャー研究主幹
近藤 重人 日本エネルギー経済研究所中東研究センター研究員
鈴木 恵美 早稲田大学地域・地域間研究機構主任研究員
吉岡 明子 一般財団法人 日本エネルギー経済研究所中東研究センター主任研究員

<委員「ポピュリズム・人口移動問題部会」>

浪岡 新太郎 明治学院大学准教授（副査）
保坂 修司 日本エネルギー経済研究所中東研究センター研究理事
石川 真作 東北学院大学准教授
佐久間 孝正 東京女子大学名誉教授
小林 周 日本エネルギー経済研究所中東研究センター研究員兼日本国際問題
研究所若手客員研究員

<委員兼幹事>

相 航一 日本国際問題研究所所長代行
中川 周 日本国際問題研究所研究調整部長
貫井 万里 日本国際問題研究所研究員

2. 研究会の実施状況

第一回会合

日時場所：2017年7月5日・於当研究所
テーマ：プロジェクトの趣旨説明、作業計画・分担の確認に関する打合せ
「イランの大統領選挙とメディア」

第二回会合

日時場所：2017年7月26日・於当研究所
テーマ：「トルコの難民政策の実情と課題」
「ドイツにおけるトルコ系移民の統合と新たな課題」



平成29年度外交・安全保障調査研究事業費補助金（総合事業）
「反グローバリズム再考——国際経済秩序を揺るがす危機要因の研究」

第三回会合

日時場所：9月15日・於当研究所

テーマ：「リビア：移民の経由地、過激派の訓練拠点」

「エジプトの反テロ対策：内政と外交から」

第四回会合

日時場所：10月11日・於当研究所

テーマ：「イラク・クルディスタンの独立を巡る住民投票」

「サウジアラビアのサルマーン・ムハンマド体制の安定性に関する考察」

第五回会合

日時場所：11月8日・於当研究所

テーマ「モスル・ラッカ陥没後のイスラーム国」

「フランスにおける〈イスラーム国〉の構築：〈移民〉から〈過激派〉へ」

第六回会合

日時場所：12月26日・於当研究所

テーマ：「グローバルリスクとしてのエネルギー情勢」

「イスラエル国防軍における聖俗問題」

「アメリカの中東外交とグローバルシフト」

研究会合同ワークショップ

日時場所：2017年12月8日、於当研究所

テーマ：「BREXIT とポピュリズム」

研究会合同公開シンポジウム

「反グローバリズム再考—ポピュリズムと中東発の危機に揺れる世界—」

日時場所：2018年2月5日、於：東海大学校友会館

テーマ：基調講演 「反グローバリズムの諸課題への対応」

《第1部》「ポピュリズムに揺れる先進国」

《第2部》 中東発のグローバルリスク